

# HSBCが宣言、 「サステナブル金融」の時代

Vol.2



制作／東洋経済企画広告制作チーム

150年以上の歴史があり、英国の本部のほか64の国と地域でサービスを提供する世界有数の金融グループ、HSBC。長年、ESGの課題に対して幅広く取り組んできたが、2020年10月に自らの事業運営・サプライチェーンでの「ネット・ゼロ」（二酸化炭素排出量を実質ゼロにする）達成を2030年に、また顧客の排出量削減・低炭素経済への移行支援による2050年までのネット・ゼロ達成を宣言した。

## 2050年までに顧客自身の「ネット・ゼロ」実現に向けて支援

2020年10月、日本政府は、英国をはじめとする欧州各国などに続いて、50年までに「温室効果ガスの排出実質ゼロ」を目指すことを表明した。

HSBCもまた、気候変動問題の重要性を強く認識している。20年10月には、自身の事業運営およびサプライチェーンのネット・ゼロ達成期限を30年に設定。さらに、広範な業種の顧客の排出量削減、低炭素経済への移行支援によりパ

リ協定の削減目標に適合させ、50年までに顧客自身のネット・ゼロを実現させるという意欲的な目標を発表した。顧客の低炭素経済への移行を支援するため、今後10年間で7500億米ドル〜1兆米ドルという、大規模な融資および投資を行う。

同グループが多くの顧客を有しているアジア圏は、持続的な経済拡大などを背景に、温室効果ガスの排出量が高い。低炭素経済への移行を目指して、今後よりいっそうの取り組みが期待されている。アジア諸国が低炭素経済への移行を果たすことは、世界全体に与える影響も大きく、その意味でもHSBCは重要な役割を担うことになる。

## 自社と顧客が共に 持続可能な社会を実現していく

HSBCでグローバル・バンキン

グの統括責任者を務める関根隆輔氏は、こう語る。

「当社は、この目標達成に真摯に取り組み、経営資源を積極的に投入して

いきます。お客様が自身の持続可能性に関する目標を設定し、達成することは、私たちの目標達成にも不可欠です。当社の戦略の根幹を成すものは、世界レベルの金融ソリューションと専門的な助言を提供することにより、お客様と協働して経済を成長させ、持続可能な社会を実現することだと考えています」

同社は、世界最大級の貿易金融のプロバイダーであり、環境問題を重視した投資のリーダー的存在として知られている。また、持続可能性に配慮したサステナブル・サプライチェーン・ファイナンスなどの金融サービスも提供している。

「当社は、グローバルでさまざま

サステナブルな  
サプライヤーを支援する  
サプライチェーン・  
ファイナンス

ESGプロジェクト  
などに  
リンクした  
グリーン預金

グリーン・ソーシャル・  
サステナビリティ・  
ボンドおよびローン

ESG関連の  
専門知識を  
生かした  
アドバイザー

な再生可能エネルギープロジェクトを推進しており、直近ではアドバイザーやアレンジャーとして台湾の洋上風力発電案件を手がけました。これらのプロジェクトで培ったノウハウを生かし、日本市場でも洋上風力発電の発展に貢献していきたい」と、関根氏は語る。

金融業界を牽引するHSBCの取り組みは、2年連続でユーロマネー誌のサステナブル・ファイナンス部門ワールド・ベスト・バンクに選定されるなど、社会的にも高く評価されている。1865年の設立以来、顧客やコミュニティー、そして社会全体のために、進歩の機会を切り開いてきたHSBCグループ。その未来に、よりいっそうの期待がかかる。

